

最上位標目:[アルカ文法史](#)

上位標目:[方言, 第十一期新生アルカ](#)

ルティア・アルシア方言とは、**第十一期新生アルカ**時代の2008年11月30日初出の方言である。同時期の第一次アクセント改定(2008年11月26日)の煽りにより生まれた。

(初出:[方言](#) 2008/11/30 (日) 20:05:16)

後期制アルカ時代の**ルティア方言**の後身である。

12月9日には、ルティアは**理方語**、アルシアは**西方語**を話すという設定になり、ルティア・アルシア方言の特徴は**理方語**に引き継がれた。**西方語**ではこの方言の特徴は引き継がれず、異なった趣を見せる。

2008年11月30日設定

特徴

- ・ イントネーションとアクセントはアルバザードと同じだが、抑揚が少ない。
- ・ 語末が下がらない。平坦に終わる。

ふつうに話してもユンクに聞こえてしまうので、ルティア人の男は「なよなよしている」という印象を持たれる。

ただしユンクと異なり、イントネーションの多重連結はない。

アルシアは魔法の国ルティアに傾倒しているので、ルティアと同じ。

アルシア人は人口が少ない上に移住する人が少ないため、よくルティア人に間違われる。

([方言](#) 2008/11/30 (日) 20:05:16)

最上位標目:[アルカ文法史](#)

上位標目:[方言, 第十一期新生アルカ](#)